

SAT だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

No.43

発行 (財)東京都スキー連盟
〒102-0083 千代田区麹町4.5
第6麹町ビル551号
TEL.(3262)2491(代)
発行日 H10. 12. 20発行
編集 SAT編集委員会
印刷 水戸屋紙工株式会社

新理事会の発足に当たって

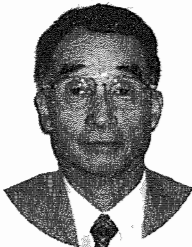


代表副会長 米沢 純夫

スキーは、冬のスポーツ。冬に花咲くスポーツです。しかし現在、スキー界はさまざまな分野・領域で、この“冬”とは違う意味の“冬の時代”を迎えています。自然の世界では、冬の次には必ず春が巡ってきます。しかし私たちが直面しているこの“冬”は、従来の経験に安易によりかかっているだけでは、冬の時代を終わらせて春を迎える、ということには決してならないように考えます。厳しい時代だからこそ、知恵を出し合って新しい行動を起こす、そのことによってしか、春をたぐり寄せることができないのではないのでしょうか。

ここ数年、都連主管の準指検定に聴覚障害を持つ人が挑戦し、何人も合格者を出していますが、障害を持つ人が受検するためには、それを支えるボランティアの方々の存在が不可欠です。先日の理事会で、その方々の努力に報いるための方策を決めましたが、「スキーを通じて都民の体力向上と心身の健全な発達に寄与する」という都連の目的が、障害を持つ人たちも視野にいれたことで、大きく膨らんだと考えます。新理事会は、全員一致協力して、新しい課題に取り組んで参ります。ご支援の程、宜しく願い申し上げます。

会員の皆さんへ



専務理事 井上 衛

99年のシーズンに入り、会員の皆さんは準備万端でシーズンを迎えたことと思います。

都連執行部は10月3日任期満了で役員改選が行われ、25名の理事および3名の監事が選任され、新執行部が誕生しました。業務の引継ぎ、部内の分担、そして行事の実行と多忙な日を送っております。

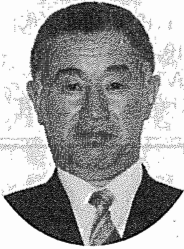
社団的性格を持つ東京都スキー連盟は、財団として運営することには、いろいろと難しい問題があります。しかし、運営の基本的な考えは480数団体に所属する2万数千人の会員の要望に如何にしてこたえるかであると考えております。

したがって、運営の決定に関しては、参加者の都合等いろいろな条件の最大公約数を求め、理事会の指導力を発揮しながら決定したいと考えております。

事務局は皆さんがより気やすく来れるようにし、対応出来るようにしたいと考えております。そのためには、OA化をより早く進め、事務処理をスピードアップしてサービスすることなどを実行中です。

執行部一同頑張りますので宜しくお願いします。

総務本部報告



総務本部長 杉崎 寿三男

先般の評議員会に於いて役員改選が行なわれ、直ちに新執行部が誕生しました。

総務本部のメンバーも一新し、このところチームワークづくりに専念している日々が続いております。メンバーの各氏は専門委員として、或いは各種委員会に所属していた者など多くの経験を有し、都連の行事運営についてはエキスパートの集まりと言えますでしょう。

都連の機構は本部制になっており各部がそれぞれの専門分野で活動しております。なかでも総務本部の役割は大変幅広く、他部に比べてすぐに成果があらわれるものではなく、むしろ遅れがちであって長い期間の積み重ねが必要です。

総務本部の主たる業務としては先ず、事務局職員と連帯して各部門の調整を図り、行事執行の円滑なる運営を目指すことにあります。

それらの要素として

1. O A 化の充実

コンピューターによる事務処理の簡略化。

電子メールを導入し、情報伝達のスピード化を図り会員の相互間に於けるサービスに役立たせたい。

運休中のホームページの再運営を図り情報の公開を進めたい。

2. 経費の節減

世界はもちろん、日本国内に於いても世はまさに不景気時代に直面しております。官公庁、企業に於いても費用の節減は第一目標となっております。私達の都連もスキーヤー（会員）の減少などにより収入は大幅に減少しつつあります。事務局を含めた、各部の行事運営も見直し、会員皆様の期待に答えたいと思います。

3. 会員との交流

生涯スポーツとしてのスキーを楽しむ為にも会員との交流を深めつつ、将来に向けての基盤づくりも必要かと思われます。60年もの永い間築かれた都連の歴史を更に充実したものにすることも、少子、高齢化対策は切実な課題であります。以上3項目の早急なる対応が迫られております。

私共総務本部はこの他にも沢山の課題を抱えておりますが、知恵をしばり、行事運営がよりスムーズに行われるようにこの2年間頑張りたいと思います。どうぞ皆様方の応援と御協力をお願い申し上げます。

車山高原の休日

ゲレンデ快適宣言'99

ゲレンデ情報やイベント紹介、詳しい施設情報はホームページでもご案内しています。
<http://shinshu.online.co.jp/resort/kurumayama/>

■車山名物マンスリーオールナイト

12/31 困たいまつパレード・花火大会、オールナイト

1/16 花火大会、オールナイト

2/13 オールナイト

3/27 オールナイト

●オールナイトは22:00～翌朝6:00まで

●ナイターは毎日営業22:00まで(12/12～3/28)



信州ビーナスライン
●お問い合わせは
信州総合開発観光株式会社
長野県茅野市ビーナスライン車山高原
☎0266-68-2626

新米教育本部長としての抱負



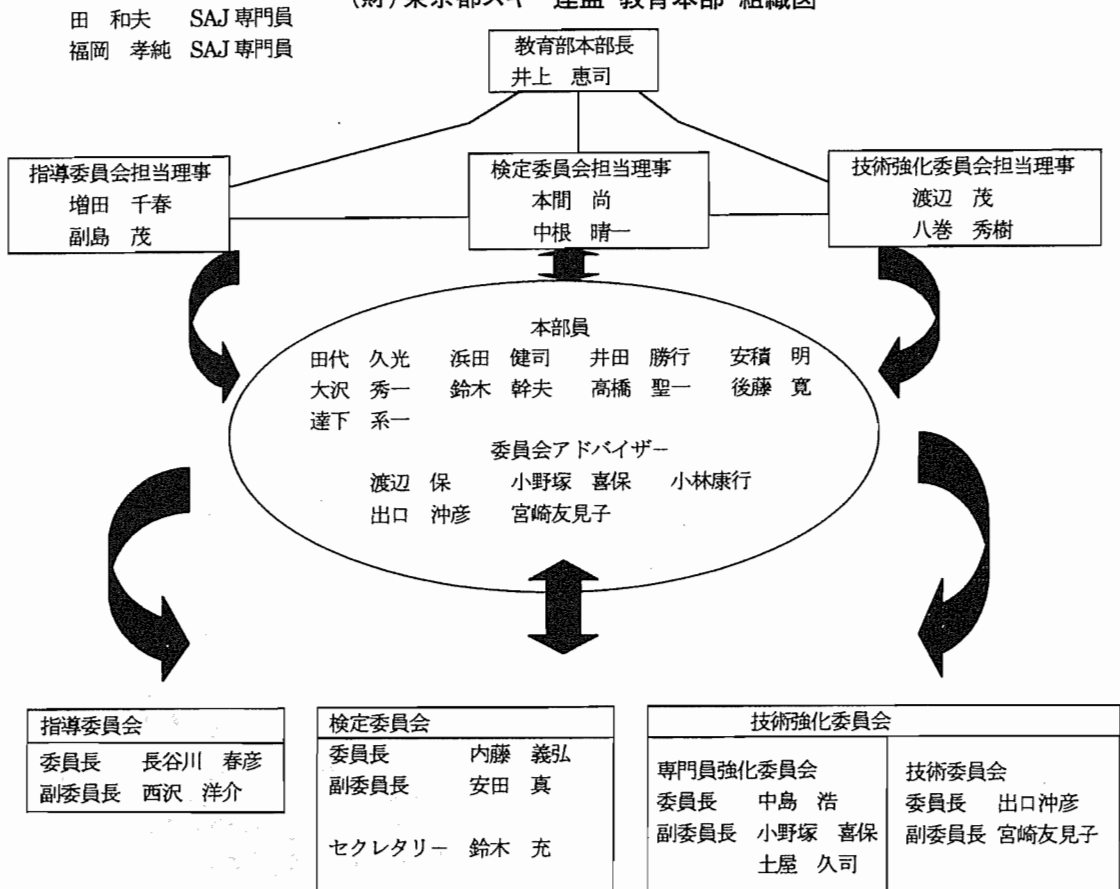
教育本部長 井上 恵司

スキーの好きな者同志が仲間をつくり、クラブを創立し、競技大会やらバッチテストを受けながら都連という組織に入りそれからSAJという全国組織に繋がっているわけです。しかし底辺にはオリンピックを目指している子供もいるでしょうし、デモを夢みながら日夜トレーニングに励んでいる若者もいるでしょう。そうして長年都連に尽して頂いた先輩達は数少なくなった仲間の再会を楽しみに、来たるシーズンを心待ちにしていることでしょう。

都連はこのような方々の血と汗の尊いお金で成り立っている財団です。私はまず理事として、無駄の

ない不正のないスッキリした体制で臨みたい。まず都連会館を早急に購入したい。年間800万の無駄を無くしたいわけです。教育本部長としては規約上のことは当然のこと、検定に関する更なるOA化、ハンディキャップの方々の問題も取り入れたい。本間前教育本部長の業績を崩さないよう、日本一のスタッフの協力の許で“すぐやる教育本部”を合い言葉に行事に取り組みたいと思って居ります。併し、ルールには厳しくするのは集団の習わしです。ケジメだけはしっかりやります。

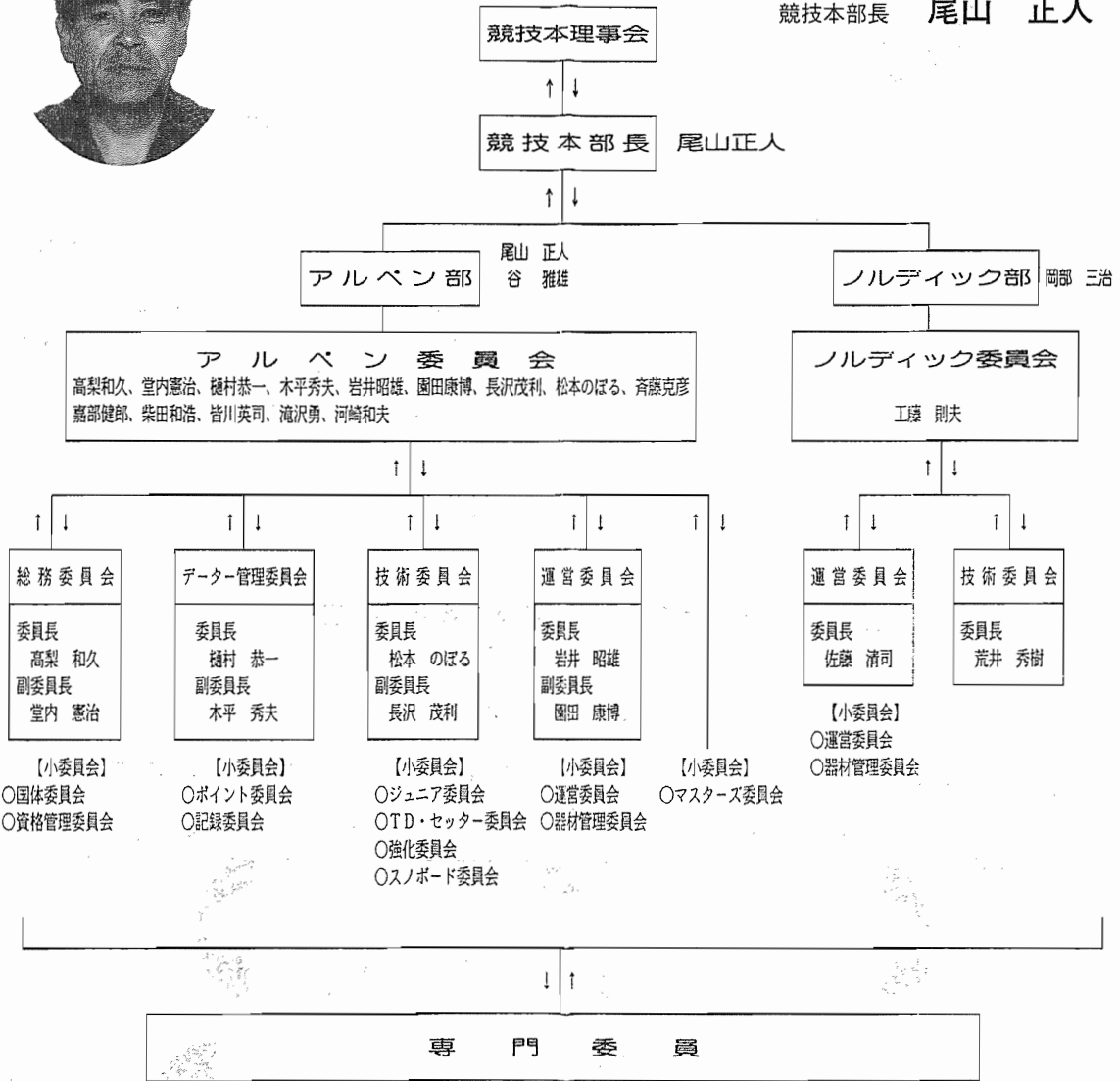
(財)東京都スキー連盟 教育本部 組織図



SAT 競技本部組織図



競技本部長 尾山 正人



HOTEL SCHÖNWALD

(ホテル シェーンヴァルト)

料金： (1名1泊2食付き、税別)

ホテル 平日 ￥9,000~ 週末、祝祭口前日 ￥9,500~
 ロッジ 平日 ￥8,000~ 週末、祝祭日前日 ￥8,500~

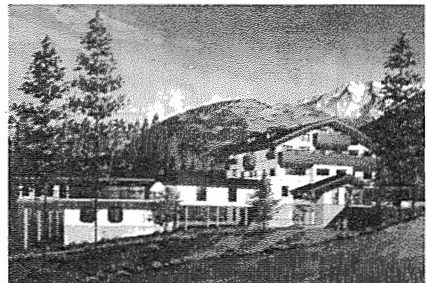
※但し、年末年始は別料金 団体割引有

お申込み、お問い合わせは、 ☎ 0261-75-2343
 FAX 0261-75-3212

- ・ポールバー有 (要予約)、春スキー5月中旬までOK
- ・オーナーの夜の気まぐれワンポイントレッスン有

〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村飯森

白馬五龍スキー場、いもりゲレンデの中にあるホテルシェーンヴァルト
 冬のスキーはもちろんのこと四季を通して楽しめます。
 オーナーはオーストリア国家検定教師・山崎正浩



F.S.S部 強化指定選手体力測定報告



フリースタイルスキー部長 渡邊 宏

秋も押し迫りいよいよシーズンインも近いです。

F. S. S部は競技種目毎に強化指定選手を選定し、シーズンに向けて選手の体力測定を行い医学的にデータを取り、今後の指導方針を策定した。

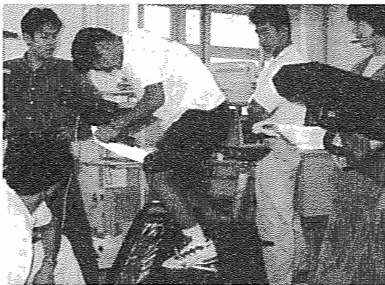
測定項目はSAJがナショナルチーム所属選手に対して実施するのと同じ項目とし、これによりトップ選手と比較できるデータが取れ非常に参考になった。

測定場所は、神奈川県国体のメイン会場横浜国際総合競技場内にある、横浜市スポーツ医科学センターで本年4月にオープンした最新設備で実施した。

結果については同センターの石毛研究員から詳細な説明が選手及び強化コーチにあり、今後行うべきウィークポイント強化の方向づけが出来た。

10月から都連も新執行部となったが、当部は従来通り関係者の御協力を仰ぎながら、継続的に選手強化と底辺拡大を含め、イベントでの観客増を目標にして、専門委員と共に一丸となって進む所存であります。

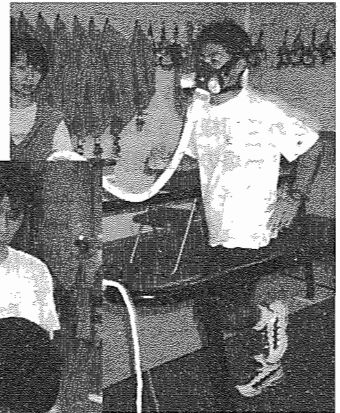
以上最新のイベント報告と、当部の進む方向を明確にし、雪多かれと願いつつ、'99年度シーズンへ突入致します。



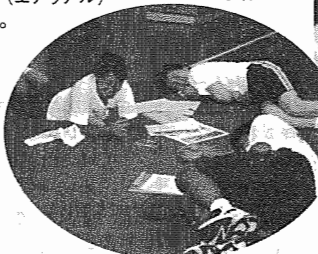
▲筋持久力テスト中の岩崎孝幸選手(エアリアル) コーチ陣から叱咤激励の声が飛ぶ。



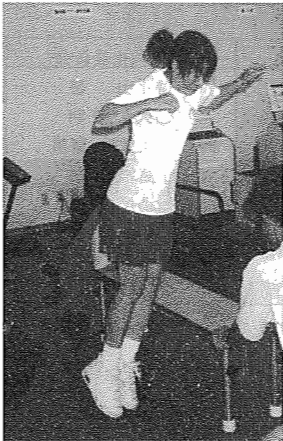
◀筋持久力テスト中の岩崎選手のアップ。頑張れ!



▲全身持久力テスト車を廻すリスのように、ただ走るのみ。岩崎選手(エアリアル)



▲乳酸値測定の採血を受ける。藤巻南巳選手(アクロ)



▲台跳びに(40cm)挑む池田南未選手(モーグル)

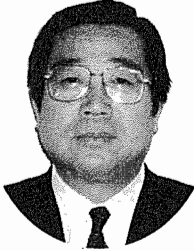


▼測定結果説明をする石毛研究員



▲体脂肪率測定スリムな竹田選手(モーグル)は自信ありげだ。

スキー場の行動規則(義務規定)について



安全対策部長 中澤 義昭

スキー、スノーボードにはさまざまな特有の危険があり、特にスピードを伴うことから、銘々の行動には、自分自身の事

故防止と他の人の安全に対して責任があり、注意義務が求められています。

(財)日本鋼索交通協会方面からの要請もあって、全国スキー安全対策協議会の調査委員会にて下記の様にはばまとまりました。内容は義務教育終了程度の国語理解能力でも楽に読める啓蒙用の「普及版・行動規則」です。

なお、現在日本鋼索交通協会では、スキー場で頻発する人身事故による訴訟事件に対処するため、スキー場の危機管理としてスキーヤーへの「告知」をまとめているとのこと。

告知の最重要部分はこのスキー場の行動規則であります。来るスキーシーズンには、全国のスキー場の入り口に、今回決定した「スキー場の行動規則(普及版)」を掲げられるよう運動すると聞いております。

また標識についても重要で出来るだけ早い時期にまとめて同様にされると伺っております。

◎スキー場の行動規則

1. 他人を傷つけたり、おびやかしてはならない。
2. 地形・天候・雪質・技能・体調・混雑等の状況に合わせてスピードをコントロールし、いつでも危険を避けるために止まれるよう、滑り方を選ばなければならない。
3. 前にいる人の滑走を妨害してはならない。
4. 追い越すときは、その人との間隔を十分にあげなければならない。
5. 滑り出すとき、合流するとき、斜面を横切るときは上を良く見て安全を確かめなければならない。
6. コースの中で座り込んではいけない。狭い所や上から見通せない所では立ち止まることも慎まなければならない。転んだときはすばやくコースをあけなければならない。
7. 登るとき、歩くとき、止まるときはコースの端を利用しなければならない。

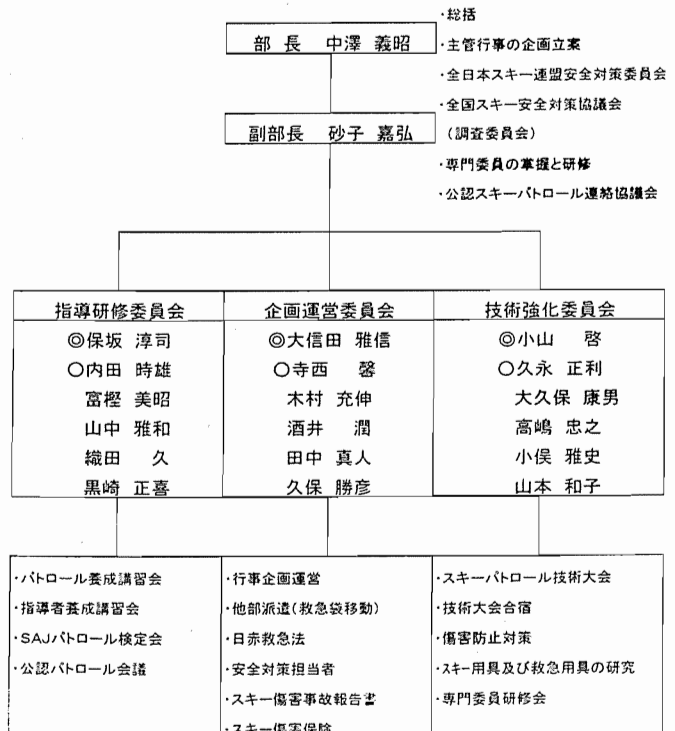
8. スキーやスノーボードには、流れ止めをつけなければならない。
9. 掲示・標識・場内放送等の注意を守り、スキーパトロール・スキー場係員の指示に従わなければならない。
10. 事故にあったときは救助活動と通報に協力し、当事者・目撃者を問わず身元を明らかにしなければならない。

以上の10項目は次の各法人、全国スキー安全対策協議会、財団法人日本鋼索交通協会、財団法人全日本スキー連盟、社団法人日本職業スキー教師協会、日本スノーボード協会等によって全国のスキー場とスキーヤー、スノーボーダー達に注意義務を求めて行くことになると思います。

何より先ず自分自身の安全です。その為の予防と保険、事故が起きたら最小限にすること、そして二次事故を起こさないことが大切だと思います。

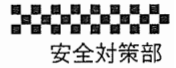
尚、本年度は「スキーと安全」の改訂を行います。

安全対策部各委員会構成





S・A・T98年度スキー傷害事故報告について



H10.11.5

安全対策部

傷害者が多い時期についてはシーズン前半の固い雪による上肢の傷害、特に肩の脱臼や打撲が、3月末の溶けかけた重い雪による下腿、膝の傷害が多かった。(スキー傷害は下肢が多く、スノーボーダーは上肢が多い)

PL法制定によりビンディング調整について、業者指導が多くなっておりませんが、指導者、安全対策担当者によるチェックも必要ではないかと考えます。

受傷者の年齢については例年20～30、31～40代の範囲に多く発生していましたが今年は41～50、51～60代に多く、これは高齢化社会に於ける特徴ではないかと見られ、特にこれから将来にわたり増々多くなってくものと思われる。

技術レベルは上、中級者に事故の半数以上が発生している点について注意を願いたい。

傷害の発生時刻は午前10時～午後3時に多く、原因は回転の失敗や自己転倒の他に衝突を避けるための転倒、衝突が多い。コースの幅や斜面の緩急により一カ所にスキーヤーが集中してしまうことも原因の一つに数えられる。

報告書の記入者について、明らかに担当者以外の方がされたケースが十数通ありますが、是非とも安全対策担当者の報告が望ましいと思います。

毎年600件前後の報告書を頂いておりますが、未提出の団体が未だにかなりの数でありますので、今後のご協力をお願いします。

以上のことを念頭に置き、全国スキー安全対策協議会でまとめております「スキー場の行動規則(義務規定)」を正しく理解して頂き「安全で楽しいスキー」をされますことを願っております。

98年度 スキー傷害事故報告書

傷害報告書提出数 599件

受講者数 19,312名

講習者数 586

東京都スキー連盟安全対策部

1998/11/

区分	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	合計	属回答
G1 傷害保険	1 自己傷害保険	24	2 対人賠償	5	3 対人対物賠償	18	自己対人		1	自己対人対物	9	54
G2 性別	4 男性	26	5 女性	30							4	56
G3 年齢	6 6歳未満	1	7 7～12	3	8 13～15	0	9 16～20	1	10 21～25	5	56	
G4 技術レベル	11 20～30	4	12 31～40	11	13 41～50	13	14 51～60	10	15 61歳以上	9	56	
G5 体格	16 指導者	5	17 上級者	10	18 中級者	29	19 初級者	10	20 初心者	2	56	
G6 滑走日数	21 大きい	12	22 普通	31	23 小さい	13					0	56
G7 休業	24 0～3	20	25 4～6	16	26 7～10	10	27 11～15	7	28 16～20	0	54	
G8 凍傷治療	29 21～30	1	30 31日以上	0							0	56
G9 傷害名	31 充分	49	32 不十分	7							0	56
G10 傷害場所	33 充分	35	34 不十分	1							0	56
G11 傷害場所	35 擦挫	8	36 骨折	11	37 脱臼	2	38 切創	3	39 打撲	15	61	
G12 傷害場所	40 擦挫	18	41 擦過傷・切創	4	42 凍傷	0	43 顔部	4	44 頸部	3	45 胸部	7
G13 凍傷	42 前線部	1	43 後線部	0	44 顔部	4	45 頸部	3	46 胸部	3	47 腕部	1
G14 凍傷	47 上腕部	1	48 前腕部	2	49 手背	1	50 肘部	1	51 臀部	1	52 膝部	6
G15 凍傷	52 膝部	0	53 腕部	0	54 大腿部	1	55 膝部	25	56 下腿部	1	61	
G16 凍傷	57 定数	6	58 その他	2							0	56
G17 凍傷	59 7日未満	8	60 8～14	9	61 15～21	8	62 22～30	11	63 31～60	8	53	
G18 凍傷	64 61～90	3	65 91日以上	3	66 未定	3	67 競技中	5	68 練習中	0	53	
G19 凍傷	67 練習中	32	68 自由時間	16	69 練習中	5	70 競技中	0	71 9時まで	14	72 ナイター	0
G20 凍傷	71 9時まで	0	72 12時まで	24	73 15時まで	15	74 17時まで	0	75 ナイター	0	53	
G21 凍傷	76 その他	0									0	56
G22 凍傷	77 粉雪	0	78 湿雪	12	79 新雪	9	80 露雪	1	81 ザラメ	6	53	
G23 凍傷	82 アイスバーン	6	83 踏み固めた雪	11	84 溶けかけた雪	6	85 その他	2			0	56
G24 凍傷	86 緩斜面	21	87 中斜面	25	88 急斜面	6					0	56
G25 凍傷	89 スムーズ	25	90 キャンプ・こぶ	8	91 ラフ	14	92 練習	3			0	52
G26 凍傷	93 カラテ	4	94 雑草	33	95 滑っていた	19	96 滑っていた	19			0	56
G27 凍傷	96 急い	15	97 普通	33	98 遅い	5					0	56
G28 凍傷	99 自己転倒	46	100 衝突	7							0	56
G29 凍傷	101 回転失敗	37	102 人・物の回避	7	103 スピードオーバー	2	104 技術不足	0			0	48
G30 凍傷	105 自分から	1	106 衝突された	5							0	6
G31 凍傷	107 人	7	108 物(人以外)	5							0	12
G32 凍傷	109 練習中	3	110 自由時間	4	111 練習中	1	112 競技中	0			0	53
G33 凍傷	113 はずれた	30	114 はずれにくい	23							0	53
G34 凍傷	115 知っていた	40	116 知らない	13							0	53
G35 凍傷	117 自分で	19	118 販売店	24	119 指導員	6	120 ハンドロール	0	121 友人・知人	1	53	
G36 凍傷	122 その他・不明	3									0	53
G37 凍傷	123 予ずき	4	124 適切	49	125 軽すぎ	0					0	53
G38 凍傷	126 ブレーキ	45	127 ストップ	8	128 その他	0	129 なし	0			0	53

※全国スキー・ボード死亡事故

7年度スキー 19 ボーダー 14 ソリその他 2 計35 (8年5月末まで)
 8年度スキー 12 ボーダー 10 ソリその他 0 計22 (9年5月末まで)
 9年度スキー 3 ボーダー 9 ソリその他 0 計12 (10年5月 末まで)

全国スキー安全対策協議会
調査委員会(調査)

MADARAO KOGEN SNOW RESORT

斑尾

きつと、雪の神さまに愛されているんだ。

シーズンを通じて雪が豊富な、そのうえ雪質もGoodなマダラオです

BIGエリア斑尾・共通キャンペーン
 共通券を買くとハワイ旅行が当たる!
 斑尾高原スキー場&タングラムスキーサーカス

おトクな2つのスキープラン

【斑尾高原エンジョイプラン】

ホテル1泊2食+斑尾高原リフト2日/バス

12,500～23,000円(税込・税別)

【斑尾山共通リフトバスプラン】

ホテル1泊2食+共通リフト1日/バス

11,000～22,000円(税込・税別)

'99 HONDA LEV CUP
 ワールドカップフリースタイル斑尾大会
 2/20 sat. 2/21 sun.

スノーボード・全30コース滑走OK!

上信越自動車道/豊田山ICより約25分・斑尾行急行バス/JR長野駅より約65分

北信州 **斑尾高原ホテル・スキー場**

〒389-2257 長野県飯山市斑尾高原 スキー場インフォメーションセンター

☎0269-64-3214 ホテル代表 ☎0269-64-3311 東京都予約 ☎03-3216-2611

http://www.madarao.co.jp



(財)東京都スキー連盟行事日程表 (1999年度)

◎事務連絡担当者会議 9月6日(日) ワーカーズサポートセンター

月日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>指導者養成講習会(理論) 東京女子体育大学</p> <p>FS競技運営講習会</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>都内理論講習会 中野サンフラ</p> <p>指導者養成講習会(理論) 東京女子体育大学</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>クロスカンントリー記録会 森林公園</p> <p>強化指定選手体力測定 I</p> </div> </div>																														
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
11月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>安全対策担当者講習会兼公認バトロール会議 日本赤十字社(芝大門) FSジャッジ講習会</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>準指検定会理論検定 青山学院大学 公認旗門員理論検定・講習会</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>中央研修会(車山)</p> </div> </div>																														
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
12月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>教育本部専門委員研修会(ブロック)(車山)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会A(車山) 指導員研修会B(菅平)</p> <p>競技専門委員研修会(朝里川)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会C(車山) 指導員研修会D(菅平)</p> <p>指導員研修会E(熊の湯) 指導員研修会F(岩鞍)</p> <p>アクロ競技会(爺ヶ岳) 教室A(エアリアル)(斑尾)</p> <p>クロカンフェスティバル(津南) ユニフスキー大会兼全中・全高都予選会兼マスターズ(ノルディック)(津南) NRC-2(B指定選手・中高生)</p> </div> </div>																														
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>SAT・SAJスキー技術選手権大会参加選手強化合宿①(車山) 安全対策講習会(車山) パトロール受検講習会(車山)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ランキング記録会第1線・第2線(菅平) 南関ブロック選手権兼都選手権大会(ノルディック)(妙高) モーグル教室兼モーグルポイント認定会</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導者養成講習会実技B₁(菅平) 指導者養成講習会実技A₂(車山) 都スキー選手権(GSL)・国体都大会(GSL)「アルペン」(菅平) 南関マスターズ大会(斑尾)</p> </div> </div>																														
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
2月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会G(車山) 旗門員実技検定会(岩鞍)</p> <p>SATスキー技術選手権(車山) 都スキー選手権(SL)・都青年スラローム競技会「アルペン」(岩鞍) FS東京都選手権大会(猪苗代)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導者養成講習会実技B₂(菅平) 国体選手強化合宿(岩岳) SAT・SAJスキー技術選手権大会参加選手強化合宿②(岩岳)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>準指検定会実技第1会場(菅平)</p> </div> </div>																														
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
3月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>準指検定会実技第2会場(車山) クラブ対抗(菅平) 都民大会(菅平) 都モーグル競技会(浦佐国際) セッター講習・検定会及び研修会 SAT・SAJスキー技術選手権大会</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>準指検定会実技第3会場(車山) 準指検定会実技第4会場(菅平)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会H(菅平) プライズ講習検定会(車山) 南関Jr選手権(野辺山) 小学生(野辺山) C級公認講習検定(菅平)・B級公認検定員検定会(車山)</p> </div> </div>																														
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
4月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会I(熊の湯) ランキング記録会第3戦・第4戦(横手山)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>指導員研修会J(熊の湯) 指導員研修会K(岩鞍)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>C級検定員再取得検定会 食糧会館</p> </div> </div>																														
月日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

準指導員検定理論問題

- [1] 次の各文は、スキーに関する歴史について述べたものである。空欄に適する地名を語群より選び番号で答えなさい。
- ・1972年(昭和47年)に、第11回冬季オリンピックが開催された都市は、(1)である。
 - ・1979年(昭和54年)に、第11回インタースキーが日本の(2)で開催された。
 - ・1999年(平成11年)に、第16回インタースキーは、(3)のバイトストレーンで開催予定である。
 - ・2002年(平成14年)に、第19回冬季オリンピックは、アメリカの(4)で開催予定である。
- <語群> 1. 蔵王 2. 札幌 3. ノルウェー 4. ソルトレーク
- [2] 現代のスキースポーツは大別して3つの指向性に分けることができる。次の各文は、それを説明したものである。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。
- ・(5)のスキー分野：一般に競技スキーといわれるものは、すべてこの特性を持っている。身体能力をはじめ、あらゆる能力をフルに発揮することを指向している。
 - ・(6)のスキー分野：アルペンスキーとノルディックスキーを組み合わせたスキー・ツアーは、特に健康の増進に役立つものであり、この指向の特性を持っている。
 - ・(7)のスキー分野：この指向の場合には、スキーヤーの運動器はそんなに激しく使用されることはない。気分転換、ゆとり、くつろぎなどのための活動が主体となる。
- <語群> 1. 健康指向 2. 競技指向 3. 遊び(レジャー)指向 4. 体力指向 5. 能力指向
- [3] スキーヤーの注意義務には、危険を予見する義務と危険を回避する義務ある。次の説明文はどちらを指しているか。“危険を予見する義務”なら「1」、 “危険を回避する義務”なら「2」と答えなさい。
- ・(8)：ある行為に対して発生しうる結果を予見し危険を防止する為の注意義務。
 - ・(9)：危険の発生を制止し、予見できない突発的な事故に際しても適切な対処と周到な準備が必要とされる。
- [4] 次の各文を読み、文中に誤りのあるものの番号を選び、解答欄(10)に番号で答えなさい。
1. 業務とは、一般的意味においては、「人が社会生活上の地位において継続的に従事する」仕事であり継続的に従事する目的で開始された仕事は1回でも業務とされる。
 2. スキーの指導員有資格者は報酬を得て行う職業ではなく、または営利を目的としないボランティアであるから業務とならない。
 3. スキーの指導員有資格者はボランティアであっても刑法211条「業務上過失致死傷罪」となる。
 4. 通常の注意力をもってしても予見できない事態が突然起きた場合、必ずしも予見義務に懈怠があったとは言えない。
- [5] 次の文章は、「スキー用具の知識」についての説明文である。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。回転は角づけと荷重によってスキーをたわませ、その曲線に沿って行う。(11)の大きさ(深さ)によって、たわみの量が異なる。深いほど回転弧を描くことは容易であるが、(12)の保持がむずかしい。技術レベルや用途によって、サイド・キャンパを念頭に置き、選択するとよい。
- <語群> 1. サイド・キャンパ 2. フレックス 3. トーション 4. バランス 5. リズム
- [6] 斜面を安全に、自在に滑り降りるために必要な条件について、空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。
- ・滑走するための(13)が得られること。
 - ・滑走中にスピードを(14)したり、方向を変え、ターンを連続するための(15)が得られること。
 - ・安定して滑走を継続するために、スキーヤーと、スキーに(16)の釣り合いがとれていること。すなわち、バランスが保たれていること。
- <語群> 1. 推進力 2. コントロール 3. 雪面抵抗 4. 働く力
- [7] 次の各文は、「スキーヤーが、回転中に必要とする雪面抵抗を得るための動作」について述べたものである。正しいものには「1」、誤りのあるものには「2」と答えなさい。
- ・(17)：スキーヤーが、スキーよりもターンの内側に位置を変え、体重と筋力によって回転外向きにスキーを押す力を働かせる。
 - ・(18)：荷重による力を受け止め、ターンの内側向きに働く雪面抵抗をとらえるように、回転内側の角づけを行う。
 - ・(19)：回転運動によって、進行方向に対し、スキーの先端の向きを変える。進む方向を変えたり、回旋運動を始めようとするときには、回転運動によって雪面から有効な抵抗が得られる。
- [8] 次の表は、「技術のしくみ」について表したものである。これを見て下の問に答えなさい。

運動課題	ターンに働く外力	技術要素	力の制御	技術の要点	ターン運動
(20)のコントロール	推進力	〔 21 〕	方向	〔 22 〕	(23)
回転弧のコントロール	重力 ↓ スキー ↑ 抵抗力		量		時間

- ・(20) : 運動課題の1つは回転弧のコントロールであるが、もう1つの運動課題を語群より選び番号で答えよ。
 <語群> 1. ずれ 2. バランス 3. スピード
- ・(21) : 技術要素(3つ)とは何か。語群より選び番号で答えよ。
 <語群> 1. バランス・リズム・タイミング
 2. 荷重・角づけ・回旋
 3. ワイドスタンス・オープンスタンス・ナチュラルスタンス
- ・(22) : 技術の要点(3つ)とは何か。語群より選び番号で答えよ。
 <語群> 1. バランス・リズム・タイミング
 2. 荷重・角づけ・回旋
 3. ワイドスタンス・オープンスタンス・ナチュラルスタンス
- ・(23) : ターン運動には、2つの運動がある。1つはエッジングの運動、もう1つは何か。語群より選び番号で答えよ。
 <語群> 1. ストレッチング 2. クロスオーバー 3. ポジショニング

[9] 次の文章は、ターンにおける回転運動『まわる』と回旋運動『まわす』について説明したものである。空欄に適する語句を語群より選び文章を完成させなさい。

滑降中に進行方向を変えるためには、スキーヤーとスキーに(24)からなんらかの力を働かせねばならない。スキーヤーとスキーが雪面から抵抗を受けて、斜面に曲線を描く運動を『(25)』という。スキーヤーが自分の(26)でスキーを(27)にそってまわしていく運動を『(28)』という。「ターン」は、この2つの運動の組み合わせで成り立っている。

- <語群> 1. まわす 2. まわる 3. ターン弧 4. 筋力 5. 外部

[10] 次の文章は、スキー技術のしくみの『回旋』について説明したものである。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

スキーヤーが、筋力でスキーをまわす操作は、大別すると次のようになる。

- ①(29)を主体としてのひねり込み ②上体からのまわし込み

ターンでは、主に脚による(30)動作が回旋に用いられる。脚でスキーをまわす動作は、動きの主体をどこに置くかによって様々である。しかし動作としては、脚全体で行うものであり、上体の協調した動きも必要である。実際には、スキーヤーの上下運動を補助として、つぎの二つの方法がある。

- ①脚を伸ばしながら、(31)からの「ひねり」をスキーに作用させるもの
 ②脚を屈曲しながら、(32)を中心にした「ひねり」をスキーに作用させるもの

- <語群> 1. 膝 2. 脚 3. 大腿部 4. ひねり 5. 上下

[11] 次の各文は、『スキーヤーの身体運動』でとりあげている「スタンス」と「ポジション」について説明したものである。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

- ・左右のスキーの間隔を腰幅程度に広くしたスタンスを(33)スタンスという。
- ・身体がいつも両スキーの間にあり、一方のスキーへの荷重、角づけ、回旋の運動によって回転運動を始めたり、舵とりを行なえるポジションが(34)ポジションである。
- ・(35)スタンスは、バランスの保持、荷重の左右への移し換え、膝を中心とした回旋運動など、脚の種々の運動を行いやすい利点がある。
- ・意図的に、両スキーの内側が角づけされるように、腰幅以上に開いたスタンスが(36)である。

- <語群> 1. ブルーク 2. ワイド 3. ナチュラル 4. オープン 5. パラレル

[12] 次の文は、『ブルークボーゲンの運動構造』について説明したものである。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

ブルークボーゲンは、連続する(37)を通し、スキーをハの字形に保ち、身体を常に両スキーの(38)に置くものをいう。したがって、両スキーは内側(39)の状態に保たれ、(40)は行われぬ。

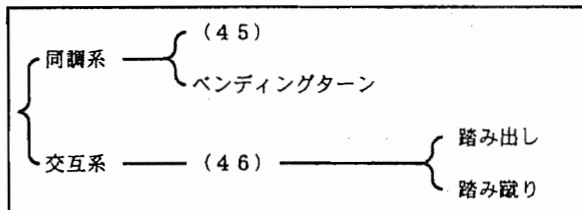
- <語群> 1. 回転 2. ターン 3. 内側 4. 切り換え 5. 角づけ

[13] 「同調運動」について、次の説明文の空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

身体と両スキーが一体となって行うターンでは、両脚の(41)の量や、(42)角度の大きさに違いは見られるが、曲げ伸ばしや、(43)などの運動は、同じ(44)、同じ時間で、両脚が互いに同調して行われる。

- <語群> 1. ひねり 2. 荷重 3. 回旋 4. 角づけ 5. 方向

[14] 次に表したのは「ターンの運動類型」の図である。図中の空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。



- <語群> 1. ストレッチングターン 2. ジャンピングターン 3. ステッピングターン

- [15] 次の各文は、準備運動（ウォーミングアップ）の必要性について述べたものである。誤りのある文を1つ選び解答欄（47）に番号で答えなさい。
- ウォーミングアップは、身体の体温、特に筋肉の温度をあげ、筋肉の動きとともに神経系の回路のとおりをよくする。
 - 外気温が低い時はストレッチングによって体温をあげることが望ましい。心肺の運動に対する準備にもつながる。
 - これからスキー運動に打ち込むのだ、という心がまえをつくる。スキー場は寒いので、適度な運動で身体をあたため、各部位の念入りなストレッチングをする。
- [16] 次の各文は、下の1～5のいずれかのスキー用語について説明している。正しいものを語群より選び番号で答えなさい。
- （48）：舵とり期の特徴的な姿勢で、脚部の傾き（内傾）にくらべて、上体の傾き（内傾）が少ない姿勢のこと
 <語群> 1. スタンス 2. 外向姿勢 3. 外傾姿勢 4. ポジション 5. 迎え角
 - （49）：スキーの長軸方向に対して上体を移動（運動）方向に向ける姿勢。迎え角を大きくすると顕著になる。谷向き姿勢。
 <語群> 1. 外向姿勢 2. 外傾姿勢 3. スタンス 4. ポジション 5. 迎え角
 - （50）：雪面への立ち方を示す。本教程では、主に左右のスキーの間隔をあらわしている。
 <語群> 1. 迎え角 2. 外向姿勢 3. 外傾姿勢 4. ポジション 5. スタンス
 - （51）：身体と左右のスキーの位置関係を示す。
 <語群> 1. 外傾姿勢 2. 外向姿勢 3. スタンス 4. ポジション 5. 迎え角
 - （52）：移動（運動）方向に対してスキーの向き（長軸方向）がつくる角度。
 <語群> 1. 迎え角 2. 沈み込み角 3. 角づけ角 4. ポジション 5. 外傾姿勢
- [17] 次の各文の中から、誤った内容のものを1つ選び解答欄（53）に番号で答えなさい。
- 有酸素性運動は、毎日継続的に行うのがよい。
 - トレーニング中は定期的に水を飲むことが重要である。
 - 中高年でも速筋を刺激すれば、張力を高めることが可能である。
 - ウエイト・トレーニングで重要なことは、毎日同じ筋肉群に刺激を与えることである。
- [18] 冬季オリンピック、およびFIS世界選手権以外の、回転と大回転競技における3名のジュリーメンバーの構成について、正しいものを1つ選び解答欄（54）に番号で答えなさい。
- 技術代表・主審・競技委員長
 - 旗門員・コース係長・主催者
 - 技術代表・主審・組織委員長
- [19] 次の文中の空欄に適する数字を語群より選び番号で答えなさい。
- 回転競技における旗門の幅は、4m以上（55）m以下でなければならない。連続するターニングポール間の距離は、0.75m以上（56）m以下でなければならない。
- 大回転競技における旗門の幅は、（57）m以上（58）m以下でなければならない。連続する2旗門の最も近いポール間の距離は（59）m以上でなければならない。
- <語群> 1. 4 2. 6 3. 8 4. 10 5. 15
- [20] 次の各文は、フリースタイルスキー競技の種目についての説明文である。空欄に適する種目名を語群より選び番号で答えなさい。
- （60）：ターン、スピード、エア、などの技術を急斜面でコブの多いコースで1回滑ることで競う競技である。
 - （61）：2本の異なる演技を行い、踏切、高さ、距離、姿勢、演技の正確さと、ランディングを競う競技である。
 - （62）：競技者の選んだ音楽とよく調和した、ジャンプ、スピン、サマーソルト、つなぎのステップの組み合わせから成り立つ競技である。
- <語群> 1. エアリアル 2. アクロ 3. モーグル
- [21] 次の各項目は、フリースタイルスキー「モーグル」におけるターンの採点基準の9つのポイントについて説明している。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。
- フォールライン ・無駄のない動作 ・（66）の吸収
 - （63）動作 ・（65）の利用 ・ストックワーク
 - （64）性 ・姿勢制御 ・（67）コントロール
- <語群> 1. コブ 2. ショック 3. スキー 4. カービング 5. 攻撃
- [22] 東京都スキー連盟の寄付行為について、空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。
- 第3条 この法人は、スキー・スポーツ団体であって、スキーの正しい（68）、（69）を図り、スキーを通じて都民の（70）の向上と（71）の健全な（72）に寄与する。
- <語群> 1. 体力 2. 普及 3. 心身 4. 振興 5. 発達
- [23] 基礎スキー指導員規定の各条項に関して、正しいければ「1」、誤りがあれば「2」と答えなさい。
- 第4条 指導員は次に掲げる義務を負うものとする。
- （73）：指導員の任務を完遂するため、積極的に指導員研修会に出席するものとする。
 - （74）：指導員は、所属団体の事業には、優先的に参加しなければならない。
- 第5条 指導員で、次の各号に掲げる一に該当する者は、指導員の資格を停止するものとする。
- （75）：所定の研修会に3年続けて欠席した時

- ・ (76) : 年次登録料を納期まで納入しない時。

[24] 指導内容の組立にあたって、前提として押さえておかなければならない項目として適しているものを右の語群より選び番号で答えなさい。

- ・ 目標の設定
 - ・ 学習 (対象) について
 - ・ (77)
- <語群> 1. 練習場所 (施設・環境) について
2. 学習内容について
3. 練習時間・量について

[25] 次の各文は、中高年者にスキーを指導中、スキーを中止して休養させなければならない状態について説明している。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

- ・ (78) になんらかの変調を感じた時
 - ・ 何となく (79) が起きてこない時
 - ・ 注意が散漫になってきた時
 - ・ リフトに乗っていて、(80) に疲労を感じた時
 - ・ 頻繁にあくびが出る時
- <語群> 1. 運動意欲 2. 脚 3. 食欲 4. 身体 5. 目

[26] 「中高年のスキー活動」で「安全面での配慮」について、次の各項目の空欄に適する語句をそれぞれ右の語群より選び番号で答えなさい。

- ・ 自然のコンディショニングと (81) 管理
 - ・ 運動量の管理
 - ・ 滑走コースの選択と (82) の回避
- <語群> 1. 健康 2. 自己 3. 危機
<語群> 1. 危険 2. 転倒 3. 衝突

[27] 次の各文は、技術練習の前に指導者として確認すべきことを述べたものである。空欄に適する語句を語群より選び番号で答えなさい。

- ・ (83) の履き方、微調整の仕方
 - ・ (84) の取り扱い方、滑走面のチェック。とくにスキーワックスの使用について
 - ・ (85) の取り扱い方
 - ・ (86) の機能、調節、取り扱い方
 - ・ その他、装備品について
- <語群> 1. スキー 2. スキーポール 3. スキーブーツ 4. バインディング 5. ゴーグル

[28] レベル2 [ストレッチングターンができる] でとりあげている「基礎的なパラレルターンを実用的な滑りに高める」際のねらいについて、空欄に適する語句をそれぞれ右の語群より選び番号で答えなさい。

- ・ (87) の能力を高める
 - ・ エッジングの強さのコントロール
 - ・ スピードの (88) を高める
 - ・ ウィークポイントを確認し、対策を考える
 - ・ 二つの (89) を覚える
- <語群> 1. リズム変化 2. エッジング 3. 切り替え操作
<語群> 1. コントロール能力 2. リズム変化能力 3. 限界
<語群> 1. 切り換え操作 2. エッジング操作 3. リズム変化

[29] 次の各文は、「スキー運動のバイオメカニズム：運動と筋・骨格系の働き」でとりあげられている関節の可動性について説明したものである。正しいものには「1」、誤りがあるものには「2」と答えなさい。

- ・ (90) : 足関節はスキー靴によって固定されるので可動範囲は著しく制限される。
- ・ (91) : 膝関節は蝶番のように屈曲の角度幅は大きい。回旋作用は、屈曲時に可能となるが、股関節にくらべ範囲は小さい。
- ・ (92) : 膝関節は球関節で、各型の運動で可動範囲は大きく、運動の中心となる関節である。
- ・ (93) : 身体の垂直軸を中心にして回旋作用を行う動きも、横 (側方) の動きと同じように、肩、脊柱の動きが大きく、腰部の関節が重要となる。足、膝関節の動きはわずかなものである。

[30] 関節の可動性のうち横の動きについて、動きの大きいものからわずかなものまでを順番に表しているものを語群より1つ選び解答欄 (94) に番号で答えなさい。

- <語群> 1. 脊柱 → 腰 → 膝 4. 腰 → 脊柱 → 膝
2. 脊柱 → 膝 → 腰 5. 足関節 → 腰 → 膝
3. 腰 → 膝 → 足関節

[31] 回旋運動が始動する際、ズレ幅の大小を決定するものを、語群より1つ選び解答欄 (95) に番号で答えなさい。

- <語群> 1. 迎え角 2. 角付け角 3. 沈み込み角 4. たわみ角 5. ねじれ角

[32] あなたがゲレンデを滑走中、一般のスキー客が斜面に倒れているのを発見した。どのような手順で応急処置をすればよいか。空欄に適する語句を右の語群より選び番号で答えなさい。

- ① 患者の確認
 - ② (96)
 - ③ (97)
 - ④ 応急処置
 - ⑤ (98)
 - ⑥ (99)
 - ⑦ (100)
 - ⑧ 医療機関へ
- <語群> 1. 搬送
2. 適正な体位の維持、全身の保温
3. 患者の周囲の状況と全身状態の観察
4. 連絡と通報
5. 直ちに処置すべき傷病か、時間的に余裕のあるものかを判断する

加盟団体の承認

■新加盟店

団体番号	新加盟団体名	会員数	代表者名	保証団体名	仮承認年月
No.629	ホワイトブルースクラブ	33名	翠尾 均	No.532 ウイツ	97年11月
No.630	ラブオールスキークラブ	30名	新家 芳則	No.43ジエゲルグルッペ	97年11月
No.631	プラッツスキークラブ	38名	幸田 望	No.430 チームラッシュ	97年11月
No.632	日本ビューレットパッカードスキークラブ	33名	細野さおり	No.226 ソニースキークラブ	98年1月
No.633	ビーエス21東京	46名	日高美南子	No.619 赤坂スキークラブ	98年4月
No.634	ジーボアスキークラブ	40名	海老沼明治	No.526 レスポワールスキークラブ	98年5月
No.635	キャンドピース(C.P.S.)	30名	原嶋 建	No.524 ICIスキークラブ	98年5月
No.636	スノーレディーススキークラブ	33名	大明美代子	No.254 ミナスポーツスキークラブ	98年5月
No.637	クラブワン	30名	湯川 貴史	No.580 マスターズスキークラブ	98年6月
No.638	スキークラブ・ゲース	40名	小菅 実	No.397 グルッペ・エスタウト	98年8月
No.639	ディプススキークラブ	30名	五月女晴彦	No.25 豊島区スキー協会	98年8月
No.640	チームビートゥーゼット	31名	石井 良子	No.497 カンダハートライビング	98年8月
No.641	清瀬スキー倶楽部	33名	佐伯 義治	No.220 東久留米市スキー連盟	98年8月

■(財)東京都スキー連盟役員

役名	役職	氏名
理事	代表副会長	米沢 純夫
〃	副会長	浦辻 直
〃	副会長	稲垣 彰
〃	専務理事	井上 衛
〃	常務理事 総務本部長	杉崎 寿三男
〃	総務副本部長	眞鍋 勝美
〃	会計担当	堀 治人
〃	会計担当	中村 光代
〃		川 渕 誠
〃		柴田 博
〃	常務理事 教育本部長	井上 恵司
〃		渡辺 茂
〃		本間 尚
〃		増田 千春

役名	役職	氏名
理事		副島 茂
〃		八巻 秀樹
〃		中根 晴一
〃	常務理事 競技本部長	尾山 正人
〃		岡部 三治
〃		谷 雅雄
〃	常務理事 FSS部長	渡邊 宏
〃	副部長	阿部 勲
〃	常務理事 安対部長	中澤 義昭
〃	副部長	砂子 嘉弘
監事		馬場 和男
〃		大戸 保男
〃		山崎 昌矩

「99スキー」図書・新刊
 2000年に向けた新体系テキスト
 財全日本スキー連盟編著
日本スキー教程
スキー指導実技編
 B5変型/定価1,890円(税込)千340
 ●実地・実技の具体的指導法を展開
日本スキー教程「安全編」
 ●安全で楽しいスキーのために
 B5変型/定価1,890円(税込)千340
 ●時代や実態に対応した知識と技術
「教育本部」99年度
オフィシャルブック
 B5変型/定価1,680円(税込)千340
 ●研修会テーマから諸規程などを収録
「頻度論理論検定対策」
準指・指導員検定
模擬問題集(改訂版)
 A5判/定価1,470円(税込)千310
 ●初級者から競技者のための
クロスカントリースキー
テクニク教本 井上國男著
 定価1,470円

スキージャーナルの
スキー図書&ビデオ
 ★好評発売中!

▲「スキービデオ」好評発売中!
 新作「ジョー・モスリー」が伝授する
モーグルの極意
 税込価格3,570円(カラー)40分 宅録
 ●カラー版テキストも同内容で発売中!
 「日本スキー教程」日本スキー指導教本
 副読本・プラスCOACHING
カービングスキーのスキー指導
 税込価格3,800円(カラー)30分 宅録
カービングスキーとスキー検定
 税込価格3,200円(カラー)25分 宅録

〒160-0007 東京都新宿区荒木町20 インテック88ビル **スキージャーナル株** ☎03(3353)3051 郵便振替・00100-1-33504

表 彰

■個人表彰

氏 名	所属団体	表彰理由
田 中 由香子	No.614 ゴールドウィンズスキークラブ	1997年フリースタイル スキー世界選手権長野大会に おいて第4位に入賞
櫻 井 秀 佐	No. 9 東京スポーツマンクラブ	24年間の永きにわたり役員・ 評議員選出管理委員を努め、 この度退任
矢 嶋 和 雄	No. 13 ブリリアントスキー同人	26年間の永きにわたり選挙 管理委員会委員を努め、この 度退任

■加盟満20年経過の団体

No.	団体番号	団 体 名	承認年月日
1.	No.407	日本アイビーエム (株) スキー部	昭和53年9月10日
2.	No.408	バモススキークラブ	昭和53年9月10日
3.	No.411	雪ダルマスキークラブ	昭和53年9月10日
4.	No.412	羽村市スキー連盟	昭和53年9月10日
5.	No.413	グラモンテスキークラブ	昭和53年9月10日

■第51回クラブ対抗総合成績 (平成10年3月2日)

順位	団 体 名	成 績	順位	団 体 名	成 績
1位	世田谷区スキー協会	92点	6位	若葉スキークラブ	21点
2位	チーム・フォン	34点	7位	港区スキー連盟	21点
3位	東京都庁体育会スキー部	29点	8位	東京瓦斯スキークラブ	20点
4位	K. S. C.	23点	9位	東京スポーツマンクラブ	17点
5位	アートスポーツスキークラブ	22点	10位	新宿スキークラブ	17点

★準指導員検定理論解答

問一答	問一答	問一答	問一答	問一答	問一答	問一答	問一答	問一答	問一答
1-2	11-1	21-2	31-3	41-2	51-4	61-1	71-3	81-1	91-1
2-1	12-4	22-1	32-1	42-4	52-1	62-2	72-5	82-3	92-2
3-3	13-1	23-3	33-4	43-1	53-4	63-4	73-1	83-3	93-1
4-4	14-2	24-5	34-1	44-5	54-1	64-5	74-2	84-1	94-1
5-5	15-3	25-2	35-4	45-1	55-2	65-1	75-2	85-2	95-1
6-1	16-4	26-4	36-2	46-3	56-5	66-2	76-1	86-4	96-3
7-3	17-1	27-3	37-1	47-2	57-1	67-3	77-1	87-1	97-5
8-1	18-1	28-1	38-3	48-3	58-3	68-2	78-4	88-1	98-2
9-2	19-2	29-2	39-5	49-1	59-4	69-4	79-1	89-1	99-4
10-2	20-3	30-4	40-4	50-5	60-3	70-1	80-2	90-1	100-1

NIPPON DAVOS
SUGADAIRA KOGEN

白のドラマチック・リゾート

菅平高原

ヨーロッパテイストの12のコースを持つ菅平高原は、
東京都スキー連盟の皆様のホームゲレンデとして歴史を刻んでいます。
21世紀にむけてのパートナーシップは、さらに深く、さらに大きく広がります……。

菅平高原観光協会・菅平旅客索道協会

TEL.0268-74-2003 FAX.0268-74-2353

ダルマーズ・スキークラブは昭和49年に発足し、2年後の昭和51年に東京都スキー連盟に加入し、近年20年表彰を頂き、今年で22年目を迎えるクラブです。クラブ員は36名ほど、その内、有資格者は2名と1級所有者は多数おり、基礎技術志向のクラブです。主な行事は、基礎スキー技術の確認とトレーニングを含めて年1回雪上合宿を行っています。また、クラブ員の構成は多種多様な職種のメンバーですが、主に関東近県の広い地域から集まっています。クラブの発足経緯は、渋谷にあった某観光会社でスキーバスツアーの添乗員を行っていた学生または、スキー好きなアルバイトが集まって輪が出来たのです。当初は、スキー技術等にこだわらずスキーを楽しんでいましたが、添乗員同士で集まり滑っている内に、滑りの得意な人を中心に基礎スキーを学んで指導者を育て、クラブとして活動していこうということになって現在に至っています。気心の知れた者同士ですから和やかな雰囲気です。

夫婦の会員も居て、長い歳月の中にはクラブ内結婚などもあって人生の悲喜こもごもといった所です。

クラブ総会は年一回行い、その時に予算報告及び計画案の決定を行っています。また、各委員会等は必要に応じて招集を協議しています。現在は東京スキー旅行会をベースにしてクラブ員達と連絡を取っています。

我がクラブも高年齢化に向かっていますがスキーへの親しみは年齢に差別なく、白銀の世界にシュプールを描き全員で楽しく滑ることにあります。それが、我がクラブ存続の理由です。

和・信頼・情熱

344・アカデミースキークラブ

私共アカデミースキークラブは、その母体を新潟県苗場スキー場をベースに活動拠点とする、スキーイングワールド・苗場スキーアカデミーの直轄スキークラブとして設立され、クラブ設立25周年を数え、今日に至っております。クラブ設立理念である「優秀なスキー競技者やスキー指導者の育成、クラブ員相互の親睦」をモットーとして、札幌オリンピック出場、そしてワールドカップ・アルペン種目にて我国初の入賞を成した柏木正義クラブ会長に集うスキー仲間達によって運営、活動されてまいりました。先の長野オリンピックでは、私共の仲間、柏木久美子、皆川賢太郎の二人がオリンピック出場を果し、今日、日本を代表するアルペンレーサーとして活躍しております。クラブ設立理念が単なる夢でなく現実の事となった背景には、クラブ員相互の「和、信頼、情熱」等が大きな力となったと、今更ながら感じられます。21世紀を迎え様としている今日、社会状況の変化は勿論、スポーツジャンルに至迄、全ての事柄が多様化し、大きく変革され様としております。初心を忘れず、スキーに集う仲間達の和を重んじ、より活動的なクラブを目指して行きたいと思っております。今年、アカデミースキークラブでは、将来、都連の公認スキー大会としてを視野に入れた本格的な大回転競技大会を、その母体である苗場スキーアカデミーと一体となり、苗場スキー場にて主管開催致します。各種イベント等の立案、開催を通じ、私共アカデミースキークラブと都連に集う多くのスキークラブの皆さんとの交流を積極的に計り、都連の加盟クラブとしての一躍を担う所存でございます。

「TrendyなNew URBANを旨ざして」

345・アーバンスキークラブ名誉会長 二宮 浩司

都会的（URBAN）でハイセンスなスキークラブとなることを旨ざして発足。しかし発足当初の発起人には東京都出身の都会人は1人もいない田舎そだちの者ばかりの集団でした。

昭和46年に任意団体として発足、49年に都連に加盟。二宮会長、名誉会長（元都連総務部長）を中心に、URBANなクラブセンスの確立を旨ざして頑張ってきました。

当初は女性の準指合格者が多かったことから“アーバンは女性のクラブ”と思われていた時期もありました。また、スキー学校と級別テストを都連では始めて北海道で開催するなど、常に最新のトレンドを目指して頑張ってきました。

創立25周年を機に、クラブを大改革。会長以下全役員を一新して二世クラブ員に禅譲することにより、「ニューアーバン」を合言葉として新しい時代に向けて発進しました。

でも、いまだにクラブ員の大半がURBANになれないCountry Clubメンバーのようです。

編集者

委員長	川 淵 誠
編集長	土 屋 東 明
編集委員	三 瓶 一 男 海老沢 晃
	塚 本 哲 夫 藤 雄 比佐夫
	本 間 毅 一 花 田 知 之
	蒔 野 秀 治 斉 藤 かおり

